

お菓子を通じて北海道の新規就農者をサポート！

シーキューブ酪農支援 子牛用ヒーターを贈呈

株式会社シュゼット・ホールディングス（本社：兵庫県西宮市、代表取締役社長：蟻田剛毅）が展開する洋菓子ブランド「シーキューブ」では、主力商品「焼きティラミス」の売上金額の中から北海道の酪農家をサポートする取り組みを2016年より行っています。5年目となる今年度は、11月9日に浜中町農業協同組合を通じて、北海道厚岸郡浜中町の新規就農者2組に畜産用ヒーターを贈呈いたしました。



就農者研修を経て、今年から生乳生産開始した関東出身の新規就農者のご夫婦2組

「シーキューブ」では、ブランド名の由来である3つの「C」、コーヒー・チーズ・カカオを活かしたお菓子を創るため厳選した素材にこだわっています。なかでも乳製品は北海道根釧地区の発酵バターやマスカルポーネなどの良質な素材を使用していますが、毎年減少を続ける酪農家の現状に危機感を持っています。そこで、同ブランドでは“お菓子で幸せなつながりを”を理念としていることもあり、売上の一部をこれから酪農を始める方の初期投資や、酪農を維持していくための支援を行っています。

例年は、浜中町で贈呈式が執り行われますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は贈呈式は見送りいたしました。

■寄贈品について

ホルスタインは寒さに強い品種であるものの、子牛は親牛に比べ皮下脂肪が少なく、寒冷ストレスを受けやすいため、この時期から畜産用ヒーターが必需品となります。カーフハッチの上に吊るし、仔牛を温める器具を贈呈しました。



カーフハッチの上に吊るして使用する畜産用ヒーター

<ご参考> 株式会社シュゼット・ホールディングスについて

1969年、兵庫県芦屋市で創業。百貨店をはじめ幅広い販売チャネルを持つ「アンリ・シャルパンティエ」（国内91店舗、海外4店舗）と、カジュアルなラインナップで駅ナカ・駅チカをリードする「シーキューブ」（44店舗）、ミルクレープ生みの親が創る重ね菓子の「カサネオ」（4店舗）の洋菓子ブランドを展開。製造販売のほか、カフェ事業など、さまざまな事業を推進中。世界菓子大会準優勝を果たしたパティシエを有し、創業より生ケーキはすべて手作りにこだわるなど、“世界最高峰の技術でお菓子文化を生み出す会社”として、100年先を見据えたお菓子作りを通じ、さまざまなシーンに忘れられない感動をお届けしています。（店舗数：2020年10月1日現在） 公式HP：<http://www.suzette.co.jp/>

SUZETTE

HENRI CHARDANTIER
ASHIYA 1969

C3
シーキューブ
happy to sweet you

casaneo

backhaus IRIE